

新型軽クロスオーバー「タフト（TAFT）」 月販目標台数の4.5倍となる約18,000台を受注 ～SUVらしい力強いデザインと開放感溢れるガラスルーフが好評～

ダイハツ工業株式会社(以下ダイハツ)が2020年6月10日(水)に発売した新型軽クロスオーバー「タフト」の累計受注台数が、発売後1ヶ月で、月販目標台数(4,000台)の4.5倍となる約18,000台となり、好調な立ち上がりとなった。

タフトは、「日常からレジャーシーンまで大活躍、毎日を楽しんでもくれる頼れる相棒」をコンセプトに開発し、拡大傾向にある軽クロスオーバー市場に投入した商品である。SUVらしいタフさや力強さを表現するデザインや、大きなガラスルーフ「スカイフィールトップ」、自由にアレンジできる後席「フレキシブルスペース」に加え、進化した予防安全機能「スマートアシスト」やDNGA新プラットフォームによる高い基本性能を備えながら、軽自動車ならではのお求めやすい価格を実現している。

ダイハツは“Light you up”の考え方のもと、これからもお客様一人ひとりに最適なモビリティを提供し、軽自動車と小型車の幅広いスモールカーラインナップで、お客様のニーズにお応えしていく。



(左) タフトG (右) タフトG [メッキパック装着車]



スカイフィールトップ (イメージ)

新型「タフト」受注内容

1. 受注台数

約18,000台 【ご参考】月販目標台数：4,000台

- ・性別、年代問わず幅広い層から好評
- ・ボディカラーは、新色3色*が好評
※レイクブルーメタリック、フォレストカーキメタリック、サンドベージュメタリック
- ・約半数のお客様が「メッキパック (ディーラーオプション)」を装着

2. 主な好評点

- ・タフで力強さを感じるスクエアな『デザイン』
- ・圧倒的な開放感をもたらす頭上のガラスルーフ『スカイフィールトップ』
- ・DNGAによる確かな『基本・安全性能』